

2021年度 研修員一覧

| 所属 | 資格 | 氏名 | 種別 | 期間 | 主たる研究先 | 研究内容の概要 | 備考 |
|----------|--------|-------|-----|-----------------------------|--|--|----|
| 法 | 教授 | 中野 徹也 | 春学期 | 2021.4.1 ～ 2021.9.20 | 個人研究室、総合図書館、外交史料館 | 現代国際法、特に条約法における強行規範の意義と問題点を明らかにすることを目的として、内外の文献を収集・分析する。 | |
| 文 | 被選考者なし | | | | | | |
| 経済 | 被選考者なし | | | | | | |
| 商 | 教授 | 太田 浩司 | 秋学期 | 2021.9.21 ～ 2022.3.31 | 関西大学総合図書館、個人研究室及び自宅 | Open Market Repurchase による自社株買いの Signal Strength Adjustment Hypothesis の検証に関する研究およびその結果の執筆を行う。 | |
| 社会 | 被選考者なし | | | | | | |
| 政策 創造 | 被選考者なし | | | | | | |
| 外国語 | 教授 | 平嶋 里珂 | 春学期 | 2021.4.1 ～ 2021.9.20 | 関西大学総合図書館、個人研究室及び自宅、文法参考書研究会、日本フランス語学会、PEKA、関西フランス語教育研究会、日本フランス語教育学会 | 外国語としてのフランス語文法記述の文脈化の研究： —文法記述内容の言語学的分析（特に複合時制） —記述用語（メタラング）の対照分析（日仏対照分析及び英語及び他言語の記述用語の傾向を調査） —学習段階による記述用語の比較分析 | |
| 人間 健康 | 被選考者なし | | | | | | |

2021年度 研修員一覧

| 所属 | 資格 | 氏名 | 種別 | 期間 | 主たる研究先 | 研究内容の概要 | 備考 | |
|--------|--------|-------|-----|-----------------------------|--|---|----|--|
| 総合情報 | 教授 | 松下 光範 | 春学期 | 2021.4.1 ～ 2021.9.20 | (国内)関西大学総合情報学部、東京大学、明治大学、立命館大学、共同研究先機関(企業含む)及び学会・研究会開催地 (国外)台湾 成功大学、台湾 暨南国際大学、国際会議NICOGRAPH INTERNATIONAL | (1) 人工知能に関わる研究動向の総論的把握とポスト人工知能となる萌芽的技術についての調査。 (2) ポップカルチャーコンテンツの工学的利活用を目的としたコンテンツ指向研究に関する国内外の動向把握ならびに関係研究者との連携の模索。 (3) これらの知見に基づく論文執筆・発表。 | | |
| | 教授 | 田中 成典 | 秋学期 | 2021.9.21 ～ 2022.3.31 | (国内)グランフロント・ナレッジキャピタル、関西大学梅田キャンパス、関西大学東京センター、関西大学社会空間情報科学研究センター、関西大学総合情報学部、国土交通省国土技術政策総合研究所、東京大学空間情報科学研究センター、法政大学デザイン学部、九州大学工学部、琉球大学工学部、その他共同研究先 (国外)カナダ プリティッシュコロンビア大学、ビクトリア大学、その他、韓国等の共同研究先 | 3次元情報の利活用のための社会基盤技術の確立と新たなサービスの創出にむけた活動を加速させるために、グランフロントのナレッジキャピタルや、関西大学梅田キャンパス、加えて我が国の様々な知的創造拠点の研究者、技術者、そしてビジネス人と交流し、社会や市場が求めているニーズを見極めながら、これまで取り組んできた研究成果、いわゆる大学の知を社会に還元すべく活動を行う。具体的には、商品化を視野に入れたシステムや機器のパイロット版を試作し、社会貢献に繋がるかどうかをリサーチすることが主目的である。 | | |
| 社会安全 | 被選考者なし | | | | | | | |
| システム理工 | 被選考者なし | | | | | | | |
| 環境都市 | 被選考者なし | | | | | | | |
| 化学生命 | 被選考者なし | | | | | | | |
| 法務 | 教授 | 山名 京子 | 秋学期 | 2021.9.21 ～ 2022.3.31 | (国内)個人研究室 (国外)ドイツ・フライブルク マックスプランク外国・国際刑事法研究所 | 関西大学法学研究所の証拠の収集と保管研究班において証拠収集方法の適正性・明確性の担保と証拠法則について研究してきたが、今回申請の研修期間において比較法研究をさらに深める。また、証拠収集方法としての合意制度および刑事免責制度についても比較法研究を深める。国内外の研究者および実務家との共同研究も行う。各テーマとも、関西大学およびドイツ・フライブルクのマックスプランク外国・国際刑事法研究所において研究を行う。 | | |
| 会計 | 教授 | 清水 涼子 | 春学期 | 2021.4.1 ～ 2021.9.20 | 個人研究室及び自宅 | 企業会計基準29号「収益認識に関する会計基準」のゲーミング事業への適用可能性を研究する。 | | |
| 心理 | 被選考者なし | | | | | | | |
| 教育推進部 | 被選考者なし | | | | | | | |
| 国際部 | 被選考者なし | | | | | | | |